

# 岡山市西部リサイクルプラザ整備・運営事業

審査講評

平成 23 年 12 月 19 日

岡山市

岡山市（以下「市」という。）は、平成 23 年 5 月 24 日に公告した岡山市西部リサイクルプラザ整備・運営事業の総合評価一般競争入札に係る事業者提案について、岡山市建設工事総合評価一般競争入札の試行に関する要綱（平成 20 年市告示第 223 号）に基づき、評価を行い、技術評価点及び価格評価点を合計した総合評価点について最も高い提案を行った入札参加者を入札参加資格確認対象者として決定した。

市は、入札参加資格確認対象者より提出された一般競争入札参加資格確認申請書等について、参加資格の審査を行った。当該審査の結果、入札参加資格を有すると認め、落札者として決定したので、ここに審査講評をとりまとめる。

## 1 審査結果

### (1) 改善技術提案書の審査

市は、各入札参加者の改善技術提案書に記載された内容が、落札者決定基準に示す必須項目を満たしているかについて審査を行った。その結果、全ての入札参加者の提案内容が必須項目を満たしていることを確認した。

### (2) 技術評価

市は、各入札参加者の提案書に記載された内容について、落札者決定基準に基づく 5 段階評価による得点化方法により、技術評価を行った。

なお、技術評価にあたっては、審査の公平性を期すため、各グループ企業名は伏せ、受付グループ名（フルーツ名）にて評価を行った。

表 技術評価の得点化方法

判断基準	評価	得点化方法
当該審査項目について特に秀でて優れている	A	配点×1.00
当該審査項目について秀でて優れている	B	配点×0.75
当該審査項目について優れている	C	配点×0.50
当該審査項目についてわずかに優れている点を認める	D	配点×0.25
当該審査項目について優れている点が認められない	E	配点×0.00

表 技術評価点

評価項目	配点	あたご梨		ピオーネ		マスカット		メロン		白桃		富有柿	
		評価	得点	評価	得点	評価	得点	評価	得点	評価	得点	評価	得点
<b>1) 設計・建設業務に関する事項</b>	<b>13点</b>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
① 安定・経済運転、性能	3点	C	1.50	A	3.00	C	1.50	B	2.25	B	2.25	A	3.00
② 事故・災害対策	2点	C	1.00	B	1.50	C	1.00	B	1.50	A	2.00	A	2.00
③ 環境対策	1点	C	0.50	B	0.75	C	0.50	B	0.75	C	0.50	B	0.75
④ 省エネルギー、次世代エネルギー「見える化」	3点	B	2.25	A	3.00	D	0.75	C	1.50	A	3.00	B	2.25
⑤ 一般持込者対応	3点	C	1.50	A	3.00	B	2.25	B	2.25	B	2.25	C	1.50
⑥ 来場者啓発対応	1点	B	0.75	B	0.75	B	0.75	B	0.75	B	0.75	C	0.50
<b>2) 運営業務に関する事項</b>	<b>16点</b>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
① 受付管理	3点	C	1.50	B	2.25	B	2.25	B	2.25	B	2.25	B	2.25
② 運転管理	4点	B	3.00	B	3.00	C	2.00	B	3.00	B	3.00	C	2.00
③ 維持管理	2点	B	1.50	A	2.00	B	1.50	D	0.50	B	1.50	C	1.00
④ 環境管理	2点	B	1.50	A	2.00	C	1.00	C	1.00	B	1.50	B	1.50
⑤ 啓発	3点	B	2.25	A	3.00	B	2.25	C	1.50	B	2.25	C	1.50
⑥ 情報管理・関連	2点	D	0.50	C	1.00	D	0.50	B	1.50	A	2.00	B	1.50
<b>3) 事業計画に関する事項</b>	<b>11点</b>	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
① 実施体制	2点	C	1.00	A	2.00	B	1.50	D	0.50	B	1.50	D	0.50
② 財務の健全性と安定性の確保	3点	C	1.50	A	3.00	D	0.75	D	0.75	A	3.00	C	1.50
③ リスク管理	2点	B	1.50	A	2.00	B	1.50	C	1.00	B	1.50	C	1.00
④ 地域の活性化	4点	B	3.00	A	4.00	B	3.00	B	3.00	B	3.00	B	3.00
<b>技術評価点</b>	<b>40点</b>	—	<b>24.75</b>	—	<b>36.25</b>	—	<b>23.00</b>	—	<b>24.00</b>	—	<b>32.25</b>	—	<b>25.75</b>

※技術評価にあたっては要求水準を上回る提案に対する加点評価をしている。

(3) 価格評価点

市は、技術評価審査の後、開札を行い、入札書に記載された入札価格が許容価格（消費税抜き）の範囲内であることを確認し、落札者決定基準に基づいて価格評価点を算出した。

表 価格評価点

グループ名	川崎技研グループ	日立造船グループ	メタウォーターグループ	新明和グループ	川崎重工業グループ	荏原環境プラント・五洋建設グループ
入札価格	7,424,532,796円	8,350,000,000円	8,480,000,000円	7,584,000,000円	7,900,000,000円	7,800,000,000円
価格評価点	<b>60.00点</b>	<b>44.04点</b>	<b>41.80点</b>	<b>57.25点</b>	<b>51.80点</b>	<b>53.53点</b>

入札価格の得点化方法

$$\text{価格評価点} = 60 \text{ 点} - \frac{\text{当該入札価格} - \text{最低入札価格}}{58,000,000 \text{ 円}}$$

小数点第3位以下は四捨五入し、小数点第2位までを求める。

(4) 総合評価点

各入札参加者の技術評価点及び価格評価点を合計した総合評価点は以下のとおりであり、市は最も総合評価点の高かった川崎技研グループを入札参加資格確認対象者に決定した。

表 総合評価点

受付グループ名	あたご梨	ピオーネ	マスカット	メロン	白桃	富有柿
グループ名	川崎技研グループ	日立造船グループ	メタウォーターグループ	新明和グループ	川崎重工業グループ	荏原環境プラント・五洋建設グループ
代表企業	(株)川崎技研	日立造船(株)	メタウォーター(株)西日本営業部	新明和工業(株)関西支店	川崎重工業(株)	荏原環境プラント(株)営業本部
構成員	東亜建設工業(株)中国支店	日本国土開発(株)岡山営業所、(株)ビルドエイト、関西サービス(株)、エスエヌ環境テクノロジー(株)	(株)大本組、メタウォーターサービス(株)事業推進本部西日本営業部、(株)日本管財環境サービス	(株)明和工務店	K E E 環境サービス(株)	五洋建設(株)中国支店
技術評価点 (配点 40 点)	24.75 点	36.25 点	23.00 点	24.00 点	32.25 点	25.75 点
価格評価点 (配点 60 点)	60.00 点	44.04 点	41.80 点	57.25 点	51.80 点	53.53 点
総合評価点	<b>84.75 点</b>	<b>80.29 点</b>	<b>64.80 点</b>	<b>81.25 点</b>	<b>84.05 点</b>	<b>79.28 点</b>

## 2 審査講評

本事業は、啓発機能を併せ持った西部リサイクルプラザについて、民間事業者のノウハウを活用して整備・運営するものであり、資源化率の向上や埋立処分率の低減など、持続可能な資源循環型社会の形成の推進に寄与することを目的としている。

本事業の民間事業者の募集・選定にあたっては、総合評価一般競争入札を適用し、民間事業者の創意に富んだ高度な技術提案が得られることを期待したものであるが、応募のあった6グループの提案はいずれもこれに応える民間の高度なノウハウを尽くした真摯な提案であった。各グループの熱意と努力に敬意を払うところである。

設計・建設業務に関する事項については、ピオーネグループが最も高い評価となり、次いで白桃グループ、富有柿グループが高い評価となった。ピオーネグループについては、排出作業場の集約・一方通行化、搬出場の屋内設置、太陽光発電の出力の大きさ等の施設の機能を高める意欲的な提案が高い評価となった。白桃グループについては、備蓄倉庫の提案内容、地中熱エネルギー利用方策とその見える化等が高い評価となった。富有柿グループについては、将来のごみ処理体系の変化にもフレキシブルに対応する提案等が高い評価となった。

運營業務に関する事項については、ピオーネグループが最も高い評価となり、次いで白桃グループ、あたご梨グループが高い評価となった。ピオーネグループについては、資源化物についての純度の自主測定の方法、延命化工事計画及び引渡までの補修更新計画、新機能情報端末を利用した見学等、創意を凝らした提案が高い評価となった。白桃グループについては、処理不適物の搬入検査方法、振動・騒音の測定箇所及び作業環境保全に係る測定項目の一部の測定頻度等が高い評価となった。あたご梨グループについては、搬入廃棄物及び搬出物の性状分析の分析頻度が高い評価となった。

事業計画に関する事項については、ピオーネグループが最も高い評価となり、次いで白桃グループ、あたご梨グループが高い評価となった。ピオーネグループについては、維持管理・運営期間の業務実施体制の人員配置、SPCの出資金額及びSPC財務の危険時の株主等による支援方策、外部専門企業によるセルフモニタリングの実施等、事業の安定的な実施に係る提案が高い評価となった。白桃グループについては、維持管理・運営期間の業務実施体制の人員配置、SPCの出資金額が高い評価となった。あたご梨グループについては、障がい者雇用の内容が高い評価となった。

最終的に技術評価点及び価格評価点を合計した総合評価点について最も高い提案を行った川崎技研グループ（あたご梨グループ）を入札参加資格確認対象者とし、参加資格審査を経て、同グループを落札者として決定した。

以上